

野田市立図書館及び野田市コミュニティ会館指定管理者候補者 選定委員会（フォローアップ）会議録概要

開催日時 令和2年2月6日（木）午後2時10分から午後3時40分まで
開催場所 野田市役所5階 512会議室
出席委員 副市長（委員長）、総務部長（副委員長）、企画財政部長、市民生活部長、
生涯学習部長、行政管理課長、管財課長
欠席委員 無し
事務局 興風図書館、市民生活課、行政管理課

1 開会

<副委員長から開会の言葉>

2 議事

(1) 令和元年度(4月～12月)野田市立南図書館、北図書館、野田市南コミュニティ会館及び北コミュニティ会館業務報告書及び令和2年度野田市立南図書館、北図書館、野田市南コミュニティ会館及び北コミュニティ会館業務計画書の審査について

<事務局から令和元年度(4月～12月)野田市立南図書館、北図書館、野田市南コミュニティ会館及び北コミュニティ会館業務報告書及び令和2年度野田市立南図書館、北図書館、野田市南コミュニティ会館及び北コミュニティ会館業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

○ 業務報告書2ページの高齢者への配慮について、拡大鏡、眼鏡の洗浄等の手入
れは、日々どのように行っているのか。

→ 指定管理者へ確認したところ、眼鏡拭きのようなレンズ拭き専用のマイクロク
ロスで利用の都度拭いており、汚れたら洗浄しているとのことである。

○ 業務報告書3ページの施設の利用促進に向けた取組について、令和元年度の新
しい取組はあるのか。

→ 南図書館では、来館した方に少しでも多くの本を借りていただくために、「本
の福袋」を千本引き版で実施したという報告を受けている。

業務報告書8ページ下段の「本の千本引き版『本の福袋』の開催」に記載のあ
るとおり、紐50本の中から好きな紐1本を引くと、紐に吊り下がった袋に番号
札とあやとりなどのプレゼントが入っており、その番号札と引換えに、番号に対
応した図書館職員が選んだ本2冊を借りていただくというものである。

また、北図書館では初めての取組として、業務報告書22ページ中段に記載のあるとおり、YA向けイベントとして「YA謎解きイベント『魔王さまはサントになりたい』」を開催したとの報告を受けている。

図書館にある本を使って謎解きをしていくというもので、ヤングアダルト層の方に少しでも本に親しんでいただこうと、このような新しいイベントを工夫して行っているとのことである。

- 業務報告書7ページのリサイクル事業の実施のところに、「除籍された資料を無料で利用者に提供」とあるが、どういったものが除籍の対象となるのか。
 - 除籍の対象となる資料は、雑誌、一般書、児童書に分かれる。雑誌は保管期間を過ぎたもの、一般書は市内に複本があるものや情報が古いもので千葉県内に複本があるもの、児童書は破損や汚損をしているものが除籍対象となる。

- 業務報告書7ページの一般利用者向け事業の実施のところから22ページまでの各事業について、各事業の参加者は当初計画している募集人員に達しているのか。また、各事業の周知方法はどのようなものか。
 - 募集定員の到達具合について指定管理者へ確認したところ、定員を設定しているイベントは、ほぼ全てのイベントが定員に達しており、子ども向け工作教室などは申込開始日当日に定員に達することが多くあったと報告を受けている。また、事業の周知方法については、一般的なイベントの周知方法としては、市報や図書館のホームページへの案内記事の掲載、図書館館内や近隣の公民館、福祉会館等へのポスター掲示やチラシ配布、カウンターでの利用者への声掛けなどにより周知を行ったとのことである。

- 業務報告書13ページの児童・青少年層への読書普及のための取組について、この取組の結果、児童・青少年層の利用は増えているのか。
 - 貸出冊数や登録者数は残念ながら毎年減少傾向であり増えてはいないが、育児支援事業や「ひだまりのへや」、図書館学校等を開催することにより、今まで図書館を利用していなかった方が利用登録し貸出につながるということがあったと指定管理者から報告を受けている。

- 業務報告書24ページのサービス向上のための取組について、南コミュニティ会館懇談会の開催の記載中、出席者が利用団体の代表1人、指定管理者2人、計3人とあるが、この参加状況に対する認識を伺う。
 - 参加者が1人となってしまったことについて指定管理者へ理由等を確認したところ、懇話会開催の1か月前から7団体の方に懇話会への参加の声掛けを行ったが、例年に比べて第1回目の開催が遅くなり、年末の12月18日の開催ということもあり、結果的に1団体1人だけの参加となってしまったとのことである。

参加者が1人の懇話会では利用者からの意見が十分汲み取れないことから、今後は1回目の会議を年末ではなく例年どおり10月中に実施することとし、また参加者が1人ということがないように、複数の候補日の中から参加できる日程を確認しながら懇話会の日程を決め、さらに懇話会に参加予定であったものの急遽参加できなくなってしまった場合には、代理の方に参加いただくよう声掛けを徹底していくと指定管理者から聞いている。

- 業務報告書24ページから25ページにかけてのサービス向上のための取組のところで、南・北コミュニティともにコミュニティ会館懇話会を開催しているという記載の中で、いずれも議題に令和元年度上半期の利用状況及び施設の管理状況の報告とあるが、下半期の報告は行っているのか。

→ 下半期の報告は、3月に実施予定の第2回コミュニティ会館懇話会にて行うと指定管理者から報告を受けている。

- 業務報告書30ページの現金の取扱い等の適切な経理処理についての方策のところに、紛失図書弁償金の記載があるが、野田市全体でどれくらい件数があるのか。

→ 今年度は1月末までに市内全体で15件あった。各図書館の内訳は、興風図書館6件、南図書館3件、北図書館3件、せきやど図書館3件となっている。

- 15件はすべて回収できているのか。

→ 回収できている。

- 1月末までで15件という件数は、例年に比べて多いのか少ないのか。

→ 年度によって多い少ないはあるが、過去3年間の平均が年間18件なので、ほぼ同じ件数である。

- 業務報告書31ページの指定管理に係る経費の収支見込みについて、支出が収入を超過する見込みであるが、何か対策を考えているのか。

→ 光熱水費の増加が赤字の大きな要因となっているため、可能な限り節電に努めていきたいという報告を指定管理者から受けている。

- 節約できるということか。

→ できるだけ節約するよう努めると聞いている。

- 業務報告書31ページの収支について、定期利用団体の利用が減っているということだが、その理由は何か。

→ 指定管理者へ確認したところ、長年集会室を定期利用してきた書道教室の講師が年齢的な理由で利用を辞めたことや、長年和室を定期利用してきたヨガサークルが他の場所に活動拠点を移したことなどとのことである。

- 業務報告書 39 ページの人員配置について、職員の有給休暇の取得率を教えてください。
 - 有給休暇の取得状況について指定管理者へ確認したところ、有給休暇が未消化のまま失効してしまうスタッフは南北共におらず、繰越日数を含めた有給休暇の取得率は共に 70% 以上とのことである。

- 業務報告書 40 ページの人員配置のところの北図書館及び北コミュニティ会館について、館長以下のスタッフ 13 人中 6 人が在籍年数 1 年以下であるが、施設の管理運営に問題は生じていないのか確認したい。
 - 在籍年数は、北図書館での在籍年数であり、1 人を除き皆市内の図書館又は他自治体での図書館勤務経験があり、スキルは一定以上を有しているため、問題なく管理運営できている。

- 業務報告書 43 ページから 49 ページにかけての施設の管理状況のところで、点検の実施状況について「リニューアルの提案あり」及び「経過観察とする」という記載が点検結果欄に複数あるが、それについての認識を教えてください。
 - 日頃より長寿命化に向け点検整備を行うことにより、現状ではまだ使用はできるもの、老朽化等の理由によりいずれ修繕を行うことが必要なもの等を認識しており、今後も施設・設備の状態を把握することにより、修繕が必要となった場合にすぐに対応が取れるようにする。なお、修繕にあたって正規品が手に入らない場合においても、極力代替品や中古部品で原状回復できるよう指定管理者を通じて保守業者やメーカーに指導していく。

- 業務報告書 52 ページの破損及び修繕の実施状況のところで、南コミュニティセンターのところに記載されている 5 月 24 日に行った浄化槽高圧洗浄詰り直しについて、これは 43 ページから 49 ページにかけての施設の管理状況の点検結果には記載がないが、浄化槽濾過機五方弁交換工事及び合併浄化槽濾過機ポンプ交換工事、同じくポンプ用フロートスイッチ交換工事と同様に、合併浄化槽維持管理点検において不具合が発見されたものか。
 - 5 月 24 日に行った浄化槽濾過機五方弁交換工事を行う際に不具合が発見されたものである。

- 業務報告書 54 ページから 59 ページにかけての事故、要望又は苦情の対応状況のところで、駅や市役所でも本が返却できるようにしてほしいという要望に対して、対応結果の欄には興風図書館に確認したところ設置予定は今のところないと記載されているが、過去に検討した実施する上でのデメリット等を現在の状況に照らし合わせて再度検証したのか。これに限らず、本を借りやすくする環境整備を図書館として検討してもらいたい。

→ ブックポストについては、市の貸出しの考え方や、ランニングコスト、タイムラグ、本の汚損等を踏まえ、図書館として駅への設置は考えていない。

しかし、読書離れやデジタル配信に押されてきている現状で、読書推進を図るためには少しでも返却しやすい環境を整えるため、図書館から離れている公民館等に返却することが可能か検討する。

○ 業務報告書56ページの事項、要望又は苦情の対応状況のところ、寄贈だから置くことを承認しているのならば他の宗教、政治団体の新聞等なども置かせてもらえるのかという記載があるが、野田市の図書館は寄贈を受けたらどのような宗教や政治団体の新聞でも置くということで良いのか。

→ 宗教、政治団体の新聞については8紙所蔵している。この8紙については県立図書館や他市の公立図書館でも所蔵している。

所蔵している理由としては、図書館団体である日本図書館協会では「公共図書館の任務と目標」を策定している。その中で、「住民に適切な判断材料を提供するため、政治的、社会的に対立する意見がある問題については、それぞれの立場の資料を収集するように努める。図書館の収集した資料がどのような思想や主張をもっていようと、それを図書館が支持することを意味するものでない。図書館は、全国紙、地方紙、政党機関紙のほか、それぞれの地域の状況に応じて専門紙を備える。」となっている。このことにより野田市では、平成の始め頃に政党等の新聞を発行しているところに寄贈のお願いをして現在に至っている。

○ 業務報告書57ページの事項、要望又は苦情の対応状況のところ、北コミュニティ会館でWi-Fiを使えるようにしてほしいという要望に対して、要望があったことを所管の興風図書館へ報告したと記載されている。公共施設のWi-Fi整備については市の企画財政部において計画を立てて行っていくことになっているが、北コミュニティ会館のWi-Fi整備についてはどうなっているのか。

→ 企画調整課が策定を進めている「公衆無線LAN整備方針」に基づき、コミュニティ会館のWi-Fi整備についても検討されている。

図書館の調べ物については、レファレンスサービスを利用していただき、図書館内に自習室などがなく、Wi-Fiを利用する環境がないことから、図書館には設置をしない。

また、コミュニティ会館への設置については、住民サービスの向上と防災の観点から、整備したいと考えている。

○ 業務計画書36ページの年度事業計画について、令和2年度の新規事業はあるのか。

→ 指定管理者へ確認したところ、南北共に新規事業はないが、継続事業の内容を

更に充実させていきたいと考えているとのことである。

- 業務計画書 4 2 ページから 4 7 ページにかけての施設の利用計画について、担当課作成の運営状況調書に各施設の利用が減少傾向にあると記載されており、実際に令和元年度は平成 3 0 年度比較ではそれぞれ減少見込となっている。一方、令和 2 年度は、ほぼ前年度並みと推計されているが、そのように見込んでいる考え方について教えてほしい。
- 指定管理者へ確認したところ、コミュニティ会館については、平成 3 0 年度との比較では、これまで定期利用してきた団体の利用減により減少する見込みであるが、その空いた時間枠に新規の利用団体が徐々に入り始めているため、令和 2 年度の利用人数については、落ち込みはそれほどないものと考えているとのことである。図書館については、登録者・貸出点数ともに市内図書館全館で毎年減少傾向にあるため、増加に転じることは困難と考えるが、有用なイベントや催し物、あるいは学校や他の施設への積極的な働きかけをすることによって前年度の数字を維持させたいと考えているとのことである。

- 関連して業務計画書 4 4 ページ及び 4 7 ページのコミュニティ会館の利用件数の見込みについて、令和 2 年度の南コミュニティ会館は少し回復、北コミュニティ会館は少し減少の予測となっているが、どのように見込まれたのか。
- 指定管理者へ確認したところ、南コミュニティ会館では、新規の個人利用が多いことから微増予想とし、北コミュニティ会館は、定期利用団体が減少傾向にあるため微減予想としたとのことである。

<審議の結果>

令和元年度(4月～12月)野田市立南図書館、北図書館、野田市南コミュニティ会館及び北コミュニティ会館業務報告書及び令和2年度野田市立南図書館、北図書館、野田市南コミュニティ会館及び北コミュニティ会館業務計画書について承認

(2) 令和元年度(4月～12月)野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書及び令和2年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書の審査について

<事務局から令和元年度(4月～12月)野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書及び令和2年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書について一括して説明>

<審議の概要>

- 業務報告書3ページの施設の利用促進に向けた取組のところで、一般展示として毎月各種の展示が実施されているが、利用者の声はどういう評価があるのか教えてほしい。
 - 一般書の展示や児童書の展示及び特集展示については、カウンター越しに「この展示は面白いね」と声を掛けられるなど、利用者の方からお褒めの言葉をいただいていると指定管理者から聞いている。

- 業務報告書3ページの施設の利用促進に向けた取組のところで、令和元年度の新たな取組があれば教えてほしい。
 - 新たな取組として、おはなし会「おやこくらぶ」を行っている。図書館で行う「おはなし会」の対象年齢に満たない幼児とその保護者を対象としたおはなし会を、令和元年10月から月1回、第3金曜日に行うこととした。育児支援を優先させるため、わらべうたや手遊びを多く取り入れ、母親に覚えてもらえる内容づくりを心掛けて行っていると指定管理者から聞いている。

- 業務報告書11ページの児童・青少年層への読書普及のための取組について、この取組の結果、児童・青少年層の利用者は実際に増えているか。
 - 貸出しだけを見ると、残念ながら減少傾向にある。原因としては、子どもの読書離れや少子化、更には関宿地域の児童の減少等があるが、今年度から開始した「関宿地区小中学校児童生徒への読書推進業務」を推し進めることで読書環境を整備し、児童並びに青少年の利用向上に努めたいと考えている。

- 業務報告書18ページの中高生YAサポーターの募集と育成について、参加人数をみると毎回参加者が非常に少ない状況が続いているが、サポーターはどのように募集して登録者は何人なのか、また、今後の展望について教えてほしい。
 - YA担当1人が対応しているので、募集人員は5人までとしており、適正人数であると考えている。また、募集方法については、関宿地区の全小中学校に募集のポスター掲示を年1回依頼している。この事業は平成27年度から提案事業として実施しているもので、当初は二川中学校2人、関宿中学校2人の4人であったが、現在では、当初から行っている二川中学校の卒業生2人が高校生になって

もサポーターとして活躍している。中学生や高校生になると部活やアルバイトなどで忙しくなるため、図書館にあまり来なくなるが、現在のサポーターも中学生の時から継続してやっているの、単に募集のポスターの掲示をするだけでなく、小学校の高学年や中学生の1年生の図書館に興味を持っている学校図書委員の児童生徒などに絞ってチラシを配布するなどを学校に協力を求めていきたいと考えている。

YAサポーターの事業の内容については、ヤングアダルト向けのライトノベルの本を紹介するPOPを書いてもらうのが基本である。ただ、それだけでは飽きてしまうので、楽しんでやってもらえるように工夫して実施している。YAサポーター活動日誌でも面白かったとか興味を持ったとかの感想が多くあるので、事業としては評価している。なお、興風図書館では、中学生や高校生の職場体験時にPOPを書いてもらい各中学校にLEAFにまとめて配付していることや図書館のホームページに掲載しているため、これまではYAサポーターの事業を実施していなかったが、指定管理者の取組は有益であることから、市内図書館全体でYAサポーター事業の在り方や興風図書館での実施などを含めて検討したいと考えている。

- せきやど図書館の司書が関宿地区の小中学校等を巡回し読書を推進する事業が始められたが、その事業の状況について教えていただきたい。
 - 本年度の4月から開始した学級文庫支援では12月までの累計が3,140冊である。また、先生から依頼を受ける授業支援は同様に776冊を数え、公共図書館の本を利用する環境が整いつつあるように思われる。
- ちなみに業務報告書にはどこかにこの事業についての記載があるのか。
 - 本年度は委託事業として指定管理業務とは別に実施したため指定管理の業務報告書に記載はないが、来年度は指定管理業務に組み入れて行うこととしたため、来年度の業務計画書には記載されている。
- 業務報告書21ページのコミュニティ会館懇話会の開催について、南・北では団体代表となっているに対して、関宿では地域代表となっているが、選ぶ基準など何か違いがあるのか。
 - 選ぶ基準は関宿も南・北と同じである。年度当初に、コミュニティ会館近隣の住民代表者、自治会役員の方へお声を掛けている。
- これはお願いしているのか、それとも募集しているのか。
 - せきやど図書館長から依頼しているとのことである。
- 業務報告書39ページの点検等の実施状況のところの舞台照明設備保守点検について、設備電源の老朽化による電源部分の交換の提案を受けたとあるが、その結果を受けての対応について伺いたい。

→ 指定管理者へ確認したところ、電源基盤の交換が主となる作業であるが、交換費用の大半が工賃、人件費となるので、次回の保守点検時に並行して行うこととしたとのことである。

○ 人件費だから次回の保守点検時に行うのか。

→ 部品代そのものはそんなに高くなく、修理費用のほとんどが出張費や作業工賃などの人件費となるので、次回の保守点検のときに一緒に行った方が費用が安くなると業者からの提案があり、次回の保守点検時に行うことにしたとのことである。

○ 事業計画書28ページの年度事業計画のところ、令和2年度の新規事業はあるか。

→ 現時点では令和2年度の新規事業はない。今年度立ち上げた新事業のおはなし会「おやくらぶ」を定着させることに注力していくが、スタッフ各人の発想から「こんなことをやってみたら利用が増えるのではないか」、「子どもたちが来館するのではないか」という案が出てきたときに即実行に移すこともあるとのことである。

<審議の結果>

令和元年度(4月～12月)野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務報告書及び令和2年度野田市立せきやど図書館及び野田市関宿コミュニティ会館業務計画書について承認

3 閉会